

けがで出血したとき

手当の仕方

- 傷が小さく、出血が多くなければ清潔なガーゼなどを当てて10～15分間押さえましょう。
- 血が止まらない場合、傷が深い場合は、大きな布で圧迫するか、手足ならば、傷より心臓に近い部分（脈の触れる部分）を縛ります。



！ すぐに受診した方がよいとき

- おさえていてもなかなか出血が止まらないとき
- 傷が汚れているとき
- 出血した場所以外の打撲がひどいとき
- 鼻血が30分以上続くとき



鼻血の場合は、きちんと座って、前かがみにします。血液を飲まないように顔を下に向かせ、鼻内に何も入れずに、鼻全体をしっかりとつまみましょう。（10～15分間）

顔を上に向かせる姿勢は、血液がのどに流れ落ち、気管に入り込むおそれがありますので、顔を上に向かせないようにしましょう。

※乳児（1歳未満）の場合は、口で呼吸ができないので、出血している側だけを親指か人さし指で押さえましょう。

